令和6年3月8日作成

事業番号		等	温泉課						
事務事業名	源泉設備事業	原泉設備事業							
予算科目コード	会計	款 01	項	01	- I O I	事業開始年度	平成 11 :	年度	

1 事業概要(令和3年度)

_	3 71111112 7 1 1 1 1 1 1												
	総合計画との関係	基之	本	目標	政	策	,	分 野	主	要 施 策		拖 策	
	P37		1		I			2		(1)		D	
1	すがわら2021プラン	魅力と記 にぎわい	も力り いのな	こあふれ あるまちづ	観光の振興 	Ē :	温泉		温泉調管理	役備の適正	町営温泉 推進・効率		
	前期基本計画	くり									経営		
	関連する個別計画												
		1貧困	3	2飢餓	3保健	4教育	5	ゔジェンダー	6水•衛生	E 7エネルキ´−	8経済成長と雇用	9インフラ等	
									0			0	
	SDGsとの関連	10不平	等	11都市	12生産と消費	13気候変	動 1	4海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし	
	目的	老朽化		た源泉施	設の維持	管理を	計画	前的に行	い、安定	供給に努	めるもの。		
	対象	町温泉	町温泉事業										
	内容	源泉施	設	の改修									

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)	
		事業費	13,922,014		2,271,753		14,190,000	
コス	人	常勤職員	141,519	148,530			148,815	
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等						
	費 人件費合計		141,519		148,530		148,815	
		総事業費	14,063,533		2,420,283		14,338,815	
		国庫支出金						
財	県支出金							
源	地方債							
内		その他特定財源						
訳		一般財源	14,063,533		2,420,283	14,338,815		
		財源合計	14,063,533		2,420,283	14,338,815		
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位 令和3年度		令和4年度	目標値	
<u> </u>								
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	単位 令和3年度		目標値	
ļ								

評価 5段階	とその理由を記入(5:高い 4:	いかけ	い 3:普通 2:やや低い 1:低い)									
必要性	町が実施する必要があるのか		町営の施設から温泉を安定供給するためには、町主 体による維持管理・更新が不可欠である。									
	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	4	事故を未然に防ぐ老朽化対策に加え、揚湯機能を 維持向上する効果が得られている。									
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか		公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえた中で、計画的・定期的に改修を行い、事故等を未然に 防ぐことができている。									
公 平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か		温泉を安定して供給することにより、町営施設から配 湯を受ける温泉使用者に対する受益の均等な機会 が確保されている。									

令和4年度までの 自己評価または 改善点

揚湯機能を維持するためのエア管・揚湯管の布設替えや老朽化した櫓の改修などを 定期的・計画的に行うことができた。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理	理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)									
	温泉事業全体または当該事業全般として、委託・指定管理の導入は可能と									
委託・指定管理導入 の可能性	1 考えるが、温泉分野の専門性を要するため、業務範囲や候補者の選定、費用等について研究・検討する必要があり、導入には至っていない。									
^										
令和5年度の見直し 及び改善	老朽化した源泉設備について、定期的・計画的に順次改修するとともに、目視がでない条件下での源泉井戸作業など、経験や専門性を要する作業における業者の確認し、									
(実績または予定)	保や業務のあり方について研究していく。									
	経営戦略の見直しを通じて温泉事業の現状を把握しながら、引き続き源泉設備の改									
令和6年度以降の 方向性	修等を定期的・計画的に進めるとともに、将来にわたって安定的に事業を継続してい くための業務のあり方や効率化、資源保護などに対する方策について研究を進め									
>> 1~1 IT	る。									

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

源泉設備について、公共施設等総合管理計画や 経営戦略をふまえ、定期的・計画的に順次改修 し、温泉の安定供給の持続に努めること。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

一次評価と同様

令和6年3月8日作成

事業番号		当課	等	温泉課							
事務事業名	流入設備事業	入設備事業									
予算科目コード	会計	款	01	項	01	目	02	事 業 開 始 年 度 平成 11 年度			

1 事業概要(令和4年度)

`	· , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,											
	総合計画との関係	基之	本	目標	政	策	:	分 野	主要	更施 策	細が	拖 策
	P37		1		I			2		(1)		1)
	♪がわら2021プラン 前 期 基 本 計 画	、魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり				観光の振輿		温泉		備の適正	町営温泉 推進・効率 経営	
B	関連する個別計画											
		1貧困		2飢餓	3保健	4教育		5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	000 LOWY								0			0
	SDGsとの関連	10不平	等	11都市	12生産と消費	13気候変	動 1	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
	目的	老朽 めるも	-	た流入	施設の改作	修を行い	·) , }	漏湯事故	で未然に	上防ぐととも	いに安定供	特給に努
	対象	町温泉	町温泉事業									
	内容	流入施	設	の改修								

		区 分	令和3年度(決算)		令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)	
		事業費	0			735,977		1,650,000	
コス	人	常勤職員	0			148,530		148,815	
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等							
	費	人件費合計	0			148,530	148,815		
		総事業費	0			884,507	1,798,815		
		国庫支出金							
財	県支出金								
源	地方債								
内		その他特定財源							
訳		一般財源	0			884,507	1,798,815		
		財源合計	0			884,507	1,798,81		
		活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値	
 									
		成果指標	指標設定の理由・考える	力		令和3年度	令和4年度	目標値	
<u> </u>									

The first of the state of the s											
評価 5段階	とその理由を記入(5:高い 4:	おかけ	らい 3:普通 2:やや低い 1:低い)								
必要性	町が実施する必要があるのか		町営の施設から温泉を安定供給するためには、町主 体による維持管理・更新が不可欠である。								
	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	_	事故を未然に防ぐ老朽化対策に加え、温泉供給の 効率化や省エネ(電気使用量の削減)の効果が得ら れている。								
	事業の目的に対して成果が得 られているか		公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえた中で、計画的・定期的に改修を行い、事故等を未然に 防ぐことができている。								
	事業の目的に対して受益の機 会が均等か		温泉を安定して供給することにより、町営施設から配 湯を受ける温泉使用者に対する受益の均等な機会 が確保されている。								

令和4年度までの 自己評価または 改善点

自己評価または | 老朽化した集湯ポンプ所制御盤の改修などを定期的・計画的に行うことができた。

4 見直し及び改善

70 - 71 - 71 -		
評価 4区分とその理	里由を記え	√(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)
委託・指定管理導入 の可能性	1	温泉事業全体または当該事業全般として、委託・指定管理の導入は可能と 考えるが、温泉分野の専門性を要するため、業務範囲や候補者の選定、費 用等について研究・検討する必要があり、導入には至っていない。
-		
令和5年度の見直し 及び改善 (実績または予定)	老朽化しに安定し	た流入設備について、定期的・計画的に順次改修するとともに、各地区ごと た温泉流入を維持するための設備・施設について研究していく。

令和6年度以降の 方向性 経営戦略の見直しを通じて温泉事業の現状を把握し、引き続き流入設備の改修等を定期的・計画的に進めるとともに、将来にわたって安定的に事業を継続していくための効率化や省エネ対策、大規模災害による備えなどに対する方策について研究を進める。

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

流入設備について、公共施設等総合管理計画や 経営戦略をふまえ、定期的・計画的に順次改修 し、温泉の安定供給の持続に努めること。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

-次評価と同様

令和6年3月8日作成

事業番号		担当課等 温泉課						
事務事業名	送湯及び給湯記	送湯及び給湯設備事業						
予算科目コード	会計	款 01 項	01 🗐 03	事業開始年度	平成 11 年度			

1 事業概要(令和4年度)

٠.	·											
I	総合計画との関係	基本	目 標	政	策	分 野	主	更施 策	細が	拖 策		
ſ	P37		1	I		2		(1)		D		
	ゆがわら2021プラン 前 期 基 本 計 画	を 計 画 は			温	泉	温泉設管理	備の適正	町営温泉集中管理は 推進・効率的な企業 経営			
	関連する個別計画											
ĺ		1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等		
	000 1 0 80 注						0			0		
	SDGsとの関連	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変重	加 14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし		
	目的	老朽化し	た送配湯	施設を計	画的に改	女修するもの	か。					
	対象	町温泉事	業									
	内。容	送配湯加	西設の改修	¥.								

	区 分		令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費		9,572,200		13,377,265		17,950,000
コス	人	常勤職員	424,557		445,589		446,445
<u>\</u>	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	424,557		445,589		446,445
		総事業費	9,996,757	13,822,854			18,396,445
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内							
訳	一般財源		9,996,757		13,822,854		18,396,445
	財源合計		9,996,757		13,822,854		18,396,445
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
 							
	成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
<u> </u>							

=10 /# □ E FD.DL	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)							
計 川 り段階	百とての理由を記入(5:高い 4:	インインド	うい 3:音通 2:7272私い 1:私い)					
必要性	町が実施する必要があるのか		町営の施設から温泉を安定供給するためには、町主 体による維持管理・更新が不可欠である。					
	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか		事故を未然に防ぐ老朽化対策に加え、温泉供給の 効率化や省エネ(電気使用量の削減)の効果が得ら れている。					
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか		公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえた中で、計画的・定期的に改修を行い、事故等を未然に 防ぐことができている。					
公平性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	3	温泉を安定して供給することにより、町営施設から配 湯を受ける温泉使用者に対する受益の均等な機会 が確保されている。					

令和4年度までの 自己評価または 改善点

自己評価または 老朽化した配湯ポンプの改修などを定期的・計画的に行うことができた。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその3	<u> 里由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)</u>
委託・指定管理導入 の可能性	温泉事業全体または当該事業全般として、委託・指定管理の導入は可能と 考えるが、温泉分野の専門性を要するため、業務範囲や候補者の選定、費 用等について研究・検討する必要があり、導入には至っていない。
令和5年度の見直し 及び改善 (実績または予定)	老朽化した送配湯設備について、定期的・計画的に順次改修するとともに、各地区 ごとに安定した配湯を維持するための設備・施設について研究していく。
令和6年度以降の 方向性	経営戦略の見直しを通じて温泉事業の現状を把握し、引き続き送配湯設備の改修等を定期的・計画的に進めるとともに、将来にわたって安定的に事業を継続していくための効率化や省エネ対策、大規模災害による備えなどに対する方策について研究を進める。

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

送配湯設備について、公共施設等総合管理計画 や経営戦略をふまえ、定期的・計画的に順次改 修し、温泉の安定供給の持続に努めること。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

一次評価と同様

令和6年3月8日作成

事業番号		担当課等		温泉課	
事務事業名	固定資産購入	事業			
予算科目コード	会計	款 01 項	[01 目 04	事業開始年度	平成 11 年度

1 事業概要(令和4年度)

•	于未被女(Pidi+干皮)											
	総合計画との関係	基本	目	標	政	策		分 野	主	更施 策		拖 策
	P37		1		I			2		(1)	(D)
	ゆがわら2021プラン 前 期 基 本 計 画	魅力と活; にぎわい くり			観光の振興	Į i	温身	ŧ	温泉設管理	備の適正	町営温泉 推進・効率 経営	
Ē	関連する個別計画											
		1貧困	2	飢餓	3保健	4教育	Ī	5シェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
									0			0
	SDGsとの関連	10不平等	手 11	都市	12生産と消費	13気候変	き動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
	目的	固定資産の購入										
	対 象	町温泉事業										
	内容機械及び装置等固定資産の購入											

	区 分		令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費		10,359,400		1,772,100		6,547,000
コス	人	常勤職員	283,038		297,059		297,630
<u>\</u>	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	283,038		297,059		297,630
		総事業費	10,642,438	2,069,159			6,844,630
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内							
訳	一般財源		10,642,438		2,069,159		6,844,630
	財源合計		10,642,438		2,069,159		6,844,630
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
ĺ							
	成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
<u> </u>							

- 17位于十尺5~00 手来分析及び収音派							
評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4: <u>やや高</u> い 3:普通 2:やや低い 1:低い)							
必要性	町が実施する必要があるのか		町営の施設から温泉を安定供給するためには、町主 体による維持管理・更新が不可欠である。				
効 率 性類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	_	事故を未然に防ぐ老朽化対策に加え、温泉供給の 効率化や省エネ(電気使用量の削減)の効果が得ら れている。				
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか		公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえた中で、計画的・定期的に更新(購入)を行い、事故等を 未然に防ぐことができている。				
公 平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か		温泉を安定して供給することにより、町営施設から配 湯を受ける温泉使用者に対する受益の均等な機会 が確保されている。				

令和4年度までの 自己評価または 改善点

メータ器や電池式流量計などを定期的・計画的に購入することができた。また、令和2年度に源泉(1件)を取得したほか、令和3年度にはコンビニ・スマホ決済を可能とする温泉料金計算システム機能追加購入し、料金徴収の効率化を図ることができた(令和4年度からコンビニ等収納開始)。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその3	<u> 理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)</u>
委託・指定管理導入 の可能性	温泉事業全体または当該事業全般として、委託・指定管理の導入は可能と 者えるが、温泉分野の専門性を要するため、業務範囲や候補者の選定、費 用等について研究・検討する必要があり、導入には至っていない。
令和5年度の見直し 及び改善 (実績または予定)	老朽化した固定資産について、耐用年数も考慮しながら定期的・計画的に順次更新 していく。
令和6年度以降の 方向性	経営戦略の見直しを通じて温泉事業の現状を把握し、引き続き固定資産の更新を定期的・計画的に進めるとともに、将来にわたって安定的に事業を継続していくための 効率化や省エネ対策などに対する方策について研究を進める。

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

固定資産について、公共施設等総合管理計画や 経営戦略をふまえ、定期的・計画的に順次更新 し、温泉の安定供給の持続に努めること。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

一次評価と同様